

公表

事業所における自己評価結果（訪問）

事業所名		もみのきっず		公表日		令和7年 3月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		テキストやタブレット、視覚支援など、必要時には持参するようにしている。動画を活用して説明する場合もある。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用者数に応じて柔軟に対応している。複数の職員で協働して訪問させていただく場合もある。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日頃から保護者との関りがるため、意向を確認して対応している。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	訪問職員で集まって会議を行ったり、管理者への報告相談は常に行っている。病院との兼務者もいるため、職員全員が揃ってミーティングする機会が少ない。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	児童発達支援や放課後等デイサービスでは、外部講師からの指導・助言を受けている。	第三者による外部評価は行っていない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		積極的に自己研鑽にも努めている。		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		アセスメントやニーズにそって計画を作成している。保護者や関係機関の先生とも必ず話し、よりニーズの高いものを作成できるようにしている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援や放課後等デイサービスの職員も会議に参加して、訪問の計画を検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		計画更新時には、訪問先施設の担当者と会議を持ち、意向を確認し、計画に入れるようにしている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		学校や園の集団での様子は、児童発達支援や放課後等デイサービスの個別療育でも参考になるため、共有している。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	毎回の訪問では打ち合わせを行っていない。	毎日訪問があるわけではなく、時間もそれぞれ違うため、毎日打ち合わせをしているわけではない。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	複数名で訪問に行った時には、移動時間中に共有ができるが、1人で訪問した時にはその後に業務が入っていると、共有の時間がとれないことがある。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		訪問先の理念や想い、方針などは確認するようにしている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	1	手書きの訪問記録はしっかり取れているが、事業所の記録（データ）に移すことが当日中にできないことがある。支援経過を見て支援の検証はできていない。	記録用紙を工夫することで記録を書きやすくし、効率化を図っているが、業務の都合上、すぐに記載できないことがあるのが課題。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	保護者へのモニタリングは実施しているが、訪問先の意向確認はできていない。	これまではこの評価のように訪問先への定期的なモニタリングは行っていなかったが、今後は実施していく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		支援会などへは、児童発達支援管理責任者だけでなく、訪問スタッフなど子どもの状態を理解したスタッフも一緒に参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	もみのき病院の発達外来とは特に連携を取っている。学校や園とも連絡が取りやすい体制をとっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		外部講師2名に指導・助言をしてもらっている。外部の研修には積極的に参加して学習を深めている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3	児発管は参加しているが、職員個人としては参加していない。インターネットから自立支援協議会の情報を得ている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	保護者と対面で話す機会があれば、報告している。直接会う機会が少ない保護者とは伝え合う頻度が少ない傾向にある。	LINWORKSを用いて、保護者と情報共有できる仕組みにしているが、直接話すことに比べると十分とは言えない。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		事業所内で、ペアレントトレーニングや発達特性に関する研修会を開催している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもからもモニタリングを行い、子どもの意見が反映されるようにしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		計画説明時には保護者に来所していただき、支援内容の説明を行って同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		保護者同士が話せる機会は研修会後のお茶タイムなどで作っているが、兄弟児が交流できる場は現在はない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月通信は発行している。紙だけでなく電子媒体でも発行し、保護者の方に見ていただきやすくなる工夫をしている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		訪問先からの相談や支援についての困り感にはできるだけ迅速に対応するようにしている。当事業所に対応しにくい内容については医師にも相談するようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	1	保護者と対面で話す機会があれば、報告している。訪問後に報告書を作成してお渡ししている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			研修会を積極的に開催している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		対象児がない。